

## ～第57回予報士試験 合格者の声～

Yさま 30歳 女性 公務員 web通信講座 実技コース 模擬試験 修了

### ① 気象予報士を取ろうとした目的は何ですか。

以前テレビ局で働いていた時から、しっかりした知識をもった災害報道の必要性を感じていました。公務員に転職して勉強時間が確保できるようになったので、改めて気象についてちゃんと勉強し、災害時に信頼できる気象キャスターとしてテレビの世界に再チャレンジしようと考えたからです。

### ② 合格するまで何年かかりましたか。

1年ほど

### ③ お天気学園を選んだきっかけは何ですか。

教材がしっかりしている、先生の解説が端的でわかりやすい、過去問を採点してもらえる、質問にいつでも応じてくれるという点で選びました。

### ④ お天気学園入校から合格を勝ち取るまでの学習法をぜひ教えてください。

【全体を通して】

学科、実技ともに過去問は徹底的に解きました。H22年から最新までの過去問をすべて解き、間違えた問題は間違い直しノートを作って、自分の弱点をあぶりだしました。また、ちょっとでも理解できない問題があったら、逐一中西先生にメールで質問していました。

【学科】

学科は「気象予報士かんたん合格テキスト」の章末問題を完璧にしたり、過去問を何度も解いたり、どの問題が出て自信をもって対応できるようにしました。

【実技】

実技は過去問を H22年度から最新までを4～5回は繰り返し解き、問題文を読んだら図を見なくても求めている答えが分かるぐらいにしていました。最終的には75分の試験を30分で解けるようになりました。それでも本番では解き終わるのに65分かかったので、とにかく日ごろから時間と勝負しながら学習することをお勧めします。

お天気学園では実技コースを受講しました（Ver1、Ver2）。それぞれのテーマごとに要点をまとめた問題になっていて、この気象状況のときにはこのパターンの問題が来るという、出題のセオリーが見えてくるような内容になっていたため、実技試験の総合力の底上げに大きく役立ったと感じています。

### ⑤ お天気学園で学んで良かったことや、特に勉強になったことは何ですか。

とにかく中西先生の対応が非常に良かったです。私は地方に住んでいて通学が叶わず通信コースだったのですが、メールでのやり取りで、どんな些細な疑問も丁寧にお答えいただきました。また、過去問をやりつくして新鮮な問題が見たいときに、週末問題で先生オリジナルの問題を毎週出題してもらえたので、知識の確認に大いに役立ちました。

また、他社の教室と比較して、教材の質がとても高く感じます。中西先生の解説は無駄がなく分かりやすく、採点の講評では生徒に寄り添った言葉をかけてくださり、モチベーションアップにつながりました。

⑥ 合格までに2年以上かかった方、または学科の免除切れを経験された方に尋ねます。長期間、粘り強く学習を続けるポイントを教えてください。

1年で合格しました。

⑦ あらためて合格通知が手元に届いた率直な気持ちをお聞かせください！

第56回で学科二科目は合格していたので、第57回は実技のみでした。今回は実技1に非常に苦しめられ、実技2も時間ギリギリで解くなどさんざんな内容で、正直200パーセント落ちていると確信していました。通知書を開いて合格の文字が目飛び込んだ時は思わず涙がこぼれました。

⑧ これから受験されるみなさまにひとこと！

いまだにどうして合格したか自分でも説明が付きません。ただ、おそらく基礎部分で着実に点数を重ねられたからこそ、合格ラインに達したのではないかと思います。実技1で頭が真っ白になりながらも、灰の状態でも実技2に挑みながらも得点を稼げたのは、今まで何度も過去問やお天気学園の問題演習を繰り返し、無意識でも答えを書けるほど体にしみ込ませてきたからではないかと思っています。また、繰り返し演習の中で、論述の細かい言い回しなどを徹底的に模範解答に近づける訓練をしたおかげで減点が防げ、合格を引き寄せたのではないのでしょうか。

気象予報士試験は無限に演習問題があるわけでもなく、繰り返しの演習でマンネリ化しがちです。ただ、その中でいかに自分の解答をブラッシュアップできるかが大切だと考えます。得点につながるのならどんなに小さなことでも改善する努力を惜しまないことが、合格への近道です。頑張ってください。

Mさま 22才 男性 学生 web通信講座 実技コース 修了

**①気象予報士を取ろうとした目的は何ですか。**

私は物理学科に所属する学部生で、将来、気象の分野で研究をしたいと考えています。昔から気象に興味があったこともあり、気象分野でのスキルを身に付けたいという思いから、資格をとろうと決意しました。

**②合格するまで何年かかりましたか。**

本格的に勉強し始めてからちょうど2年かかりました。

**③お天気学園を選んだきっかけは何ですか。**

前回の試験では学科試験はパスしたものの、実技試験では不合格でした。実技試験は、記述や描画の対策を独学で仕上げることが難しいと考え、答案を添削してもらえるような講習を探していました。そこで、色々と講座を調べたところ、お天気学園のweb通信講座の実技コースが自分の勉強スタイルに一番合っており、また添削してもらえる問題数も豊富であったことから受講しました。

**④お天気学園入校から合格を勝ち取るまでの学習法をぜひ教えてください。**

実技の基本的な勉強方法としては、

1. 何も見ずに時間を測ってテキストの問題や過去問題を解く。
  2. まず自分で採点して、わからないところをチェック。
  3. 動画解説を見る。
  4. 自分がわからなかった部分は解答解説をもとにノートにまとめる。
  5. 自分の答案を先生に添削してもらい、そのフィードバックをもとに復習する。
- を繰り返していました。ポイントとしてはまず、2. で自分なりに採点することです。これにより、5. で先生に添削してもらった答案との比較ができ、自分の思い違い（特に記述や描画問題）を見つけ出すことができ、より深い理解につながりました。3. の動画解説は、正解した問題であっても全て通して視聴しました。こうすることで、(⑤でも触れますが)大問全体をストーリーとして理解できるためです。また、4. で自分なりにアウトプットすることで、学んだ知識を定着させました。

天気記号や十種雲形などの基礎知識は、一覧表をノートに作って、何度も繰り返し暗記しました。地域名や海域名を覚える場合は、白地図にオレンジペンで名前を書き込んで、赤シートで隠して覚えるスタイルで勉強しました。

その他、わからないことは気象庁HPを調べたりして補いました。最後に個人的な勉強法ですが、気が向いたときには毎日の天気図を見ていました。この時、気象庁が出している短期/週間予報解説資料を眺めながら高層天気図や数値予報天気図を追いかけると面白いと思います。

**⑤お天気学園で学んで良かったことや、特に勉強になったことは何ですか。**

実技の動画解説がとても丁寧でわかりやすかったことが良かったです。特に、問題全体を通してのテーマの解説や、出題者のねらいを踏まえた解説は非常に参考になり、問題全体を俯

瞰して解く力が身につきました。それに加えて、答案を添削してもらうことで、自分の弱点や独学では気づけなかったミス（特に記述や前線解析など）を見つけることができ、成長することができました。

**⑥合格までに2年以上かかった方、または学科の免除切れを経験された方に尋ねます。長期間、粘り強く学習を続けるポイントを教えてください。**

とにかく日々コツコツと続けることです。学科の免除切れは正直かなりつらく、諦めたくもなりますが、2回目の勉強は1回目よりもずっと楽に進められるので、あまり時間をかけずに網羅することができるかと思えます（それでも、気象法規などの暗記モノは少し大変ですが）。

また、実技に関しては、勉強すればするほど知識量はもちろん、経験値も上がります。たとえ実技で不合格になってしまっても、「今までの糧があるから、次の試験こそは合格できる！」と前向きな気持ちで勉強していました。

それでも私が勉強に行き詰った時は、外に散歩に出かけて、空を観察したりして気分転換しました。また、大学で山岳部に所属していることもあって、休日には山登りに行くこともありました。山の天気や自然を肌で感じることができる登山は、息抜きにはとても良かったです。こういった、天気を間近に体感できるような時間を作ることが、自分にとってはモチベーションアップにも繋がったように思います。

**⑦あらためて合格通知が手元に届いた率直な気持ちをお聞かせください！**

合格がわかった瞬間は、とてもうれしくてびっくりしました。それと同時に、長い間続いた「闘い」が終わったことに、感慨深いものも感じました。今まで支えてもらった家族や友人に良い報告ができたことも嬉しかったです。

**⑧これから受験されるみなさまにひとこと！**

気象予報士試験は学科、実技ともに求められる知識量や経験が多いため、勉強はかなり大変です。特に、私の場合は大学のテスト期間が終わった直後に気象予報士試験、という場合が大半で、勉強時間を確保するにもかなり苦労しました。それでも、少しずつ勉強を積み重ねていけば、勉強した分だけ合格は着実に近づきます。諦めずに何度でもトライして、ぜひ合格を勝ち取ってください！

Hさま 50代 男性 会社員(航空関係) ライブ講座実技コース 修了

①気象予報士を取ろうとした目的は何ですか。

天気に影響される仕事に携わっているため、自分自身で正確に気象状況を判断できるようになりたいと思ったから。

②合格するまで何年かかりましたか。

18年半(仕事や家庭の事情で数年勉強できない時期がありました)

③お天気学園を選んだきっかけは何ですか。

試験会場でパンフレットをいただいたことです。

自宅から通いやすく、通学やWEBなど自分のニーズに合わせて受講できることが決め手でした。

④お天気学園入校から合格を勝ち取るまでの学習法をぜひ教えてください。

学科：色んな参考書を購入しましたが、中途半端になってしまったので最終的には一つに絞って学習しました。

一通り学習した後は過去問を繰り返し解き、解説動画をフル活用して知識の習得に努めました。

実技：基本的な対策は過去問です。多くの問題を解くことは大切ですが、最も重要なことは復習です。

初めは時間内に解くことばかり気にしていましたが、復習を重要視し始めてから理解が深まってきたように思います。

⑤お天気学園で学んで良かったことや、特に勉強になったことは何ですか。

過去問解説はとても役に立ちました。通学コースでしたので気軽に質問できたことも学習の大きな助けになりました。

あと先生のいつも前向きなお言葉が嬉しかったです。

⑥合格までに2年以上かかった方、または学科の免除切れを経験された方に尋ねます。長期間、粘り強く学習を続けるポイントを教えてください。

とにかく「気象予報士になりたい」という気持ちが試験勉強を支えてくれました。

⑦あらためて合格通知が手元に届いた率直な気持ちをお聞かせください！

最高です！

⑧これから受験されるみなさまにひとこと！

超不器用な私でも合格できました。「継続は力なり」です。己の力を信じて頑張ってください！

Yさま 29歳 男性 会社員 web通信講座実技コース 修了

①気象予報士を取ろうとした目的は何ですか。

近年、九州北部豪雨や西日本豪雨、令和元年東日本台風など毎年のように大きな災害が起きており、その自然災害に対する知識を身につけ、また予報業務に携わりたいという思いから資格を取ろうと考えました。

②合格するまで何年かかりましたか。

2年

③お天気学園を選んだきっかけは何ですか。

まず、お天気学園では通信講座の実技コースを受講しました。受講前、学科は合格点に達しており残す所は実技だけでしたが、文章力の弱さ等から点数が伸び悩んでいました。そこで、実技の解答を添削して貰うことのできる講座はないかと探していたら、お天気学園にたどり着き上記の講座を選びました。

④お天気学園入校から合格を勝ち取るまでの学習法をぜひ教えてください。

【学習環境】

学習する際は、必ず横目で外の景色が見えるようにしました。そして、PC用の机と学習用の机に分け、筆記用具に関しては、定規は透明に近いもの、色ボールペンは比較的細いものを使い、1mmでも誤差を減らすようにしました。

【学習の流れ】

- (1) 時間を測り問題を解き提出
- (2) 答案用紙のコピーに赤字で疑問点や暗記の必要がある事柄のメモ
- (3) 疑問点の調査及び、動画解説視聴
- (4) 疑問点が解決したら青字で記入、不明点は質問
- (5) 暗記資料作成(学習場所以外の目立つ所に貼る用)
- (6) 答案返却後、復習し必要があれば(2)～(5)を行う

まず、私はノートを作成するのが苦手なため、実技ではノートを作成しませんでした。その代わりに、(2)～(6)を行った後の答案用紙のコピーを自身の参考書としました。行程の中で特に力を入れた部分は(3)で、動画や解説を視聴したり質問する前に一番時間を掛け疑問点の調査を行ったため、新しい発見や深く知識が身についたのではないかと感じております。(5)に関しては、私の場合トイシに貼り付けました。貼り付けたのは、地名・海域名の地図や国際天気記号、海上警報の種類、台風の大きさ強さ、時間区分、波浪表、10種雲形、注意報・警報・特別警報等です。

### 【試験当日】

第57回の試験は、午後からの試験でした。ただ、私の出身地に試験会場はなく、当日の移動は体力温存のため控え、前日から近くのホテルに宿泊しました。当日の朝はしっかり朝食を取り、自身で作成した参考書を眺めながら、受験票や筆記用具の最終確認を行いました。試験会場には45分前に到着し、検温が終わり試験の準備をし、試験に臨みました。

### 【試験が終わってから発表まで】

翌日に解答の復元を行いました。その後、解答が発表され自己採点を行い、一旦気象の座学から離れました。気象のデータは毎日確認し、雨雲レーダーや衛星画像からこちら辺に前線がありそうだなとか、高層天気図を見て、トラフがここにあるから低気圧はまだまだ発達するかなとか考えていました。後は、仕事や他の資格の勉強をしたり、趣味を楽しんでいました。

### ⑤お天気学園で学んで良かったことや、特に勉強になったことは何ですか。

私の実技の減点の要因として、問題文に対しずれた答えを書いていることでした。それに対し、どのようなアプローチで答えを導けば良いのかを細かくアドバイス頂いたことが点数アップに繋がりました。また、そのお陰で気象の知識以外に文章力においても力が付いたのではないかと感じております。

### ⑥合格までに2年以上かかった方、または学科の免除切れを経験された方に尋ねます。長期間、粘り強く学習を続けるポイントを教えてください。

受験するに当たり、家族や友人、会社の人に「気象予報士試験を受けます」と伝え、自身に程よいプレッシャーをかけた事が一番の要因だと感じています。それでも、モチベーションが下がってしまうことはありました。そのような日は、インターネットで様々な方の合格体験記を読んだり、どういう気象会社があるのかなど調べたりしてモチベーションを上げていました。

### ⑦あらためて合格通知が手元に届いた率直な気持ちをお聞かせください！

合格発表を見たときは、安堵と喜びが混じった不思議な感覚でした。また、今まで試験の応援をして頂いてくれた方々に報告したら、皆さんが喜んで下さり、本当に今まで頑張ってきたと感じました。

### ⑧これから受験されるみなさまにひとこと！

受験される人には、社会人の方も多いかと思います。まとまった時間を取るのには難しいですが、必ず受かるという強い意志があれば、きっと結果は付いてきます。そのような意志を持っている方に私の体験記が少しでも力になれば幸いです。心から応援しています。